

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3512		
科目名	災害レジリエンス		
担当教員	中森 広道		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 2		
講義室	1501	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（60%） I1 理解・分析と読解（30%） G1 状況把握（10%）		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績評価のターゲット 3. 発展期 ～ 4. 定着期		
科目概要・キーワード	■授業概要 地震、津波、洪水、台風、火山噴火など、自然災害の原因となる現象の発生を防ぐことはそもそも不可能であり、それによる災害についても100%防止することは困難です。原子力事故やテロ事件などによる技術災害や人為的災害についても完全な防止は望めません。万一災害が発生した場合でも、事前の準備や対応によりその被害を局限化し、被害から迅速に立ち直る強靱な復元力・回復力・耐久力、すなわちレジリエンスがきわめて重要となっています。レジリエントな社会とは何か、いかにしてレジリエントな社会を構築するのか、これまでの国内外における研究成果と実際の取組を概観し、レジリエントな国土の構築に向けた方策を検討します。 ■キーワード 災害、減災、復旧、復興、レジリエンス		
授業の趣旨	■副題 日本の今後の災害対策意識を涵養するレジリエンス能力を高めるためにはどうしたらよいのかを検討します。 ■授業の目的 「災害レジリエンス」とは何か、学ぶことで、様々な自然災害に対する備え、耐久力、回復力などいわゆるレジリエントな力を、地域社会、ひいては日本社会がいかにして身に付けて行けばよいのかを検討することを目的としています。 ■授業のポイント 自然災害に関する事例を中心に、災害発生の際の問題、災害復旧・復興期の問題、災害警戒期の問題、ならびに日常の災害対策に関する問題などを具体的に挙げながら、これらの問題の対応と経験が、日本の災害対策・災害意識に、どのような影響を与えたのかを考えます。そこから、災害の際の耐久力や回復力などの、災害への（特に災害対策に関する）言わば「強靱力」		

	を、どのように身につけていくのかについて学び、「災害レジリエンス」について考察することを目標とします。										
総合到達目標	「災害レジリエンス」を学ぶことで、学生各自が、もし、災害対策（危機管理）を担う立場になった際に、何をすればよいか、どのような対応をすればよいのかについて考え、企画・立案ができるようになる。 ■災害レジリエンスの概念について説明できる。E1 ■日常時の災害対応から現在の災害対応の課題について説明できる。G1 ■日常時の災害対応から災害に強い地域社会を立案するための企画を提示できる。I1 ■災害に強い地域社会を築くために個人、自治体、地域の災害時の関係について説明できる。I1										
成績評価方法	■授業内試験（80%：1回～2回） 適応ルーブリック：E1、G1、I1 （評価の観点）授業内で話した内容について理解しているのかどうか、はかるために実施されます。 （フィードバックの方法）方法は授業内で説明します。 ■リアクションペーパー（20%：1回～5回） 適応ルーブリック：E1、G1、I1 （評価の観点）授業で学んだ、重要な定義や事例について理解しているのかどうかを、はかるために実施されます。 （フィードバックの方法）方法は授業内で説明します。 ※成績は、授業内試験、リアクションペーパー、受講態度（出席など）により総合的に評価します。										
履修条件	特にありません。										
履修上の注意点	特にありません。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> 以下の内容は予定です。状況によっては順番の入れ替えや内容の変更もあります。 ①授業テーマ 「災害レジリエンス」概説 ②授業概要 最近使われるようになってきた「災害レジリエンス」とは何かを学び（E1）、その意味と大まかな内容を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 「レジリエンス」という言葉について、その意味や用いられ方を調べておく。 ④復習（120分） 書籍・報道資料ならびにホームページなどから、「災害レジリエンス」についての事例を探しておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（1） ②授業概要 社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 社会心理学に関する書籍（初学者向け・入門書レベルで構わない）を読んでおく。 ④復習（120分） 「災害と社会心理」に関する実証的な調査・研究を各自で探して、その成果を検討する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（2） ②授業概要 前回に引き続き、社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 社会心理学に関する書籍（初学者向け・入門書レベルで構わない）を読み、特に「認知バイアス」についてまとめておく。 ④復習（120分） 「災害と認知バイアス」に関する実証的な研究を各自で探して、その成果を検討する。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（3） ②授業概要 前回、前々回に引き続き、社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	以下の内容は予定です。状況によっては順番の入れ替えや内容の変更もあります。 ①授業テーマ 「災害レジリエンス」概説 ②授業概要 最近使われるようになってきた「災害レジリエンス」とは何かを学び（E1）、その意味と大まかな内容を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 「レジリエンス」という言葉について、その意味や用いられ方を調べておく。 ④復習（120分） 書籍・報道資料ならびにホームページなどから、「災害レジリエンス」についての事例を探しておく。	2	①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（1） ②授業概要 社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 社会心理学に関する書籍（初学者向け・入門書レベルで構わない）を読んでおく。 ④復習（120分） 「災害と社会心理」に関する実証的な調査・研究を各自で探して、その成果を検討する。	3	①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（2） ②授業概要 前回に引き続き、社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 社会心理学に関する書籍（初学者向け・入門書レベルで構わない）を読み、特に「認知バイアス」についてまとめておく。 ④復習（120分） 「災害と認知バイアス」に関する実証的な研究を各自で探して、その成果を検討する。	4	①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（3） ②授業概要 前回、前々回に引き続き、社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。
回	内容										
1	以下の内容は予定です。状況によっては順番の入れ替えや内容の変更もあります。 ①授業テーマ 「災害レジリエンス」概説 ②授業概要 最近使われるようになってきた「災害レジリエンス」とは何かを学び（E1）、その意味と大まかな内容を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 「レジリエンス」という言葉について、その意味や用いられ方を調べておく。 ④復習（120分） 書籍・報道資料ならびにホームページなどから、「災害レジリエンス」についての事例を探しておく。										
2	①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（1） ②授業概要 社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 社会心理学に関する書籍（初学者向け・入門書レベルで構わない）を読んでおく。 ④復習（120分） 「災害と社会心理」に関する実証的な調査・研究を各自で探して、その成果を検討する。										
3	①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（2） ②授業概要 前回に引き続き、社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 社会心理学に関する書籍（初学者向け・入門書レベルで構わない）を読み、特に「認知バイアス」についてまとめておく。 ④復習（120分） 「災害と認知バイアス」に関する実証的な研究を各自で探して、その成果を検討する。										
4	①授業テーマ 一人一人の災害レジリエンス（3） ②授業概要 前回、前々回に引き続き、社会心理から人々の災害対策・意識について先行研究をもとに学び（E1）、その概念や理論を説明できるようにする（I1、G1）。										

	③予習（120分） 社会心理学に関する書籍（初学者向け・入門書レベルで構わない）を読み、特に「コミュニケーション」についてまとめておく。 ④復習（120分） 「災害とコミュニケーション」に関する実証的な調査・研究を各自で探して、その成果を検討する。
5	①授業テーマ 情報・報道の災害レジリエンス（1） ②授業概要 災害に関する情報・報道と社会心理について先行研究をもとに学び(E1)、その概念や理論を説明できるようにする(I1、G1)。 ③予習（120分） マス・コミュニケーション論に関する書籍を読み、その概要を理解しておく。 ④復習（120分） 「災害とマス・コミュニケーション」に関する実証的な調査・研究を各自で探して、その成果を検討する。
6	①授業テーマ 情報・報道の災害レジリエンス（2） ②授業概要 前回に引き続き、災害に関する情報・報道と社会心理について先行研究をもとに学び(E1)、その概念や理論を説明できるようにする(I1、G1)。 ③予習（120分） マス・コミュニケーション論に関する書籍を読み、特に「メディア効果論」について理解しておく。 ④復習（120分） 「マス・コミュニケーションの効果」に関する実証的な調査・研究を各自で探して、その成果を検討する。
7	①授業テーマ 情報・報道の災害レジリエンス（3） ②授業概要 前回に引き続き災害に関する情報・報道と社会心理について先行研究をもとに学び(E1)、その概念や理論を説明できるようにする(I1、G1)。 ③予習（120分） マス・コミュニケーション論に関する書籍を読み、特に「メディアの機能」について理解しておく。 ④復習（120分） 「マス・メディアと機能」に関する実証的な調査・研究を各自で探して、その成果を検討する。
8	①授業のテーマ 災害対策とレジリエンス（1） ②授業概要 災害発生直後における自治体などの対応について学び（E1）、その問題点を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 災害発生時の自治体の対応に関する事例を探しておく。 ④復習（120分） 吉井博明・田中淳編『災害危機管理理論入門』などを読み、災害発生直後の自治体や公共機関の問題について考える。
9	①授業のテーマ 災害対策とレジリエンス（2） ②授業概要 災害発生直後における地域や住民の対応について学び（E1）、その問題点を説明できるようにする（I1、G1）。 ③予習（120分） 「東日本大震災」などの大きな災害に関する住民の体験談などを読んでおく。 ④復習（120分） 東京大学大学院情報学環「廣井アーカイブス」のホームページなどから、災害時の住民対応に関する考察について読んでおく。
10	①授業のテーマ 災害対策とレジリエンス（3） ②授業概要 災害発生直後における組織ストレスとストレーンについて学び（E1）、その問題点を

	説明できるようにする (I1、G1)。 ③予習 (120分) 「東日本大震災」などの大きな災害に関する組織や企業の体験談などを読んでおく。 ④復習 (120分) 広瀬弘忠編『災害への社会科学的アプローチ』、吉井博明・田中淳編『災害危機管理論入門』などを読み、災害発生直後の組織の混乱について考える。
11	①授業のテーマ 復旧・復興と災害レジリエンス (1) ②授業概要 災害復旧・復興期の自治体の対策について学び (E1)、その問題点を説明できるようにする (I1、G1)。 ③予習 (120分) 「阪神・淡路大震災」「東日本大震災」などの大きな災害の復旧・復興についての関連資料を読んでおく。 ④復習 (120分) 大矢根淳・浦野正樹・田中淳・吉井博明編『災害社会学入門』などを読み、復旧・復興期の問題について考える。
12	①授業のテーマ 復旧・復興と災害レジリエンス (2) ②授業概要 災害復旧・復興期と住民間のコミュニケーションについて学び (E1)、そこで生じる問題点について説明できるようにする (I1、G1)。 ③予習 (120分) 「阪神・淡路大震災」「東日本大震災」などの住民の体験談などを読んでおく。 ④復習 (120分) 災害後に生じた住民間のトラブルについての報道などを探し、その問題点を整理する。
13	①授業のテーマ 復旧・復興と災害レジリエンス (3) ②授業概要 災害復旧・復興期における自治体・企業と住民間のコミュニケーションについて学び (E1)、そこで生じる問題点について説明できるようにする (I1、G1)。 ③予習 (120分) 「阪神・淡路大震災」「東日本大震災」などで生じた自治体・企業と住民の間で起こった問題の事例を探しておく。 ④復習 (120分) 災害時におけるコミュニケーションについて、各自が、その課題を考える。
14	①授業のテーマ 強靱力と柔軟性 ②授業概要 災害対策についての柔軟性や臨機応変さについて学び (E1)、「災害レジリエンス」を踏まえた有効な対策について考慮できるようにする (I1、G1)。 ③予習 (120分) 「阪神・淡路大震災」「東日本大震災」などで、柔軟な対応が見られた事例を探しておく。 ④復習 (120分) 吉井博明・田中淳編『災害危機管理論入門』などを読み、マニュアルにないこと (マニュアルとは違うこと) が生じた場合の対応について考える。
15	①授業のテーマ まとめ ②授業概要 授業内試験を行い、「災害レジリエンス」の授業内容の理解度を確認し (E1)、授業全体の復習とまとめをする (I1、G1)。 ③予習 (120分) 授業内容を整理しておく。 ④予習 (120分) 各自が、災害対策をになった場合に何ができるかを具体的に考える。
関連科目	環境災害論 (RMGT・3509)、原子力と安全 (RMGT・3510)、復旧・復興論 (RMGT3511)
教科書	使用しません。

参考書・参考URL	中村功『災害情報と避難 その理論と実際』晃洋書房 2021年 ほか 授業中に紹介します
連絡先・オフィスアワー	授業中に指示します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント(100%) パブリックセキュリティ (50%) グローバルセキュリティ (10%) 情報セキュリティ (20%) ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学：80% 法学：20%

